

パトロール技術研修会 安比で開催された

PATO
岩手県
連絡協議会
No.16

去る十二月六・七日と
安比高原スキー場に於いて
岩手県スキー連盟主催
のパトロール技術研修会
が開催された。昨年に続
き今回で二回目となつた
研修会は、公認パトロール
及びスキーゲート関係者十
九名が参加し、技術の向
上そして情報交換と内容
の濃い研修会であつた。

◆一日目は

- 一、民間救急第一号であるジャパン救急サービス（株）山辺氏によるスキーゲートでのケガ人の応急処置、ストック・ザイル等を使つた骨折の応急処置の実践そして人形を使った心マッサージは、全員が体験した。
- 二、損保会社から、スキーゲートでの事故による賠償について決してパトロール自身が判断を下さない
- (4) 救急車到着時の対応
- (3) 観察の継続
- (2) ケガ等の処置
- (1) 救急車要請時
- ・固定
- ・出血の処置
- ・出力の処置

三、ドクターパトロールの長野先生は、専門的立場から頭部のケガによる脳の状態をスライドを使い詳細に説明された。頭部のケガは観察を要し状況の変化を見る事。また数時間後に変化もある等頭部のケガに対する注意を話された。

四、盛岡中央消防署松尾分署からスキーゲートにおける救急車の要請について

（会員）の参加者を多く

でほしい等、多発傾向に

ある衝突事故における

賠償責任の対応を話され

た。

内容の濃い研修会
会員の積極的な参加を

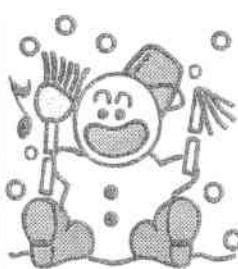
◆二日目
実技（雪上）は、リフト搬器からの救助方法及びスノーモービルによるボート操法等を研修した。

この研修会は、スキー・パトロールに従事している方々が中心に参加しシーズンインを迎えるにあたっての研修会、公認パトロールの研修会を多く

以上のお願いがあつた。
隊員に報告
傷病者の状況を教急

市長も参加して
安全講習会を開く

盛岡市



◆盛岡市スキーの安全対策講習会◆

各地区からの情報を、お待ちしています。

事故が発生しないよう気をつけたいと思います」との感想も聞かれました。

最近は、スノーボーダーのケガが多発している傾向にあります。お互いにマナーを守り安全でケガの無いシーズンになります。

今年は、暖冬で雪不足もあり、参加者数は例年より少なかつたが、参加者から「参加して大変勉強になった。私達も傷害事故が発生しないよう気をつけたいと思います」との感想も聞かれました。

昨年は、橋内先生（ドクターパトロール・橋内病院院長）から外科医の立場からの講演を受けましたが、今回はそれに続いた。

今年は、暖冬で雪不足もあり、参加者数は例年より少なかつたが、参加者から「参加して大変勉強になった。私達も傷害事故が発生しないよう気をつけたいと思います」との感想も聞かれました。

いながら講演を受けました。参加者の多くは頭（脳）のケガについては始めて聞く内容であり、人の頭の構造の複雑さに改めて驚いた様子。

公認パトロールの資格は3年以内にSAJの研修会に出席しなければならない義務があり、最近は選抜も、パトロール技術選も、岩手県としての参加が少ないようです。県連では、選抜も考えてみたのですが、各スキーゲート毎の参加もお願い。

《98年SAJ日程》

- ◆パトロール検定会 98年3月2日～4日（宮城・えぼし）
- ◇パトロール研修会 98年3月27日～29日（福島・あだたら）
- ◇パトロール競技会 98年3月28日～29日（福島・あだたら）
- ◆指導員検定会 98年2月24日～27日（青森・大鰐）